

事務事業名	人権教育の推進	所属	生涯学習部生涯学習課	H20事業費 (単位：千円)	1,720
目的	<p>すべての人々の人権が真に尊重される社会の実現をめざし、人権に関する学習の機会の充実を図る。 人権に関する学習を単に知識として学ぶだけでなく、日常生活において態度や行動に現れるような人権感覚を身につける。</p> <p>【具体的施策】</p> <p>(1) すべての教育活動の原点である家庭教育への支援の充実を図る (2) 公民館等の社会教育施設を中心とした学習機会の充実を図る (3) 参加体験型の研修会の提供等、学習プログラムの開発に努める (4) 指導者の養成及び資質の向上等、推進体制の充実を図る</p>				
H20年度の取り組み実績及び成果	<p>人権教育講座<現代的課題講座> (現代的課題に対応した人権教育講座を地区公民館等で開催) 平成20年度実績 講座回数：延べ約300回 受講者数：延べ約4,300人</p> <p>人権問題課題別講座<人権フォーラム“人・まちふれあい講演会”> (市民に対して「東広島市人権教育及び人権啓発推進基本計画」の認知度を高めるとともに、学習を深める機会として、講師を招聘して講演会を実施。) 平成20年12月18日開催 「行列のできる講座とチラシの作り方」 講師：NPO法人男女共同参画おおた理事長 牟田 静香氏 受講者80名</p> <p>「人権教育指導者研修」<文部科学省委託事業：「人権教育推進のための調査研究事業」> (公民館職員をはじめとした、地域の指導者的立場の指導力向上のための研修会の開催。) 平成20年11月～平成21年1月 全5回 受講者延べ74名</p>				
評価及び課題	<p>公民館講座を通じ、例えば、「男性料理教室」においては、男女共同参画の視点に立った制度・慣行の見直しや、性別に基づく固定的な役割分担の是正など人権尊重を基盤とする男女平等観の形成を促進することができ、また、「国際理解講座」においては、世界の人たちとともに生きていくという意識を育むとともに、異なる文化、生活習慣、価値観などへの理解を深め、外国人に対する偏見や差別意識を解消し、市民一人ひとりの国際認識と地域文化の国際性を高めることができたことなど、市民へ人権感覚の醸成を図ることができた。</p> <p>人権教育指導者養成講座を通じ、社会教育(人権教育)を地域で推進する公民館事務職員が、人権教育についての学習プログラムにいかに関与的に取り組むことができるかについて、学習者の視点やニーズ、地域の現状から見取る講座の組み立て方など、意識変容を図ることができた。</p> <p>人権問題を鋭くとらえる感性や日常生活の中で態度や行動に現れる人権感覚を体得するためにも、参加型学習の手法を活用した多様な人権教育の講座を企画、実践し、市民へ提供していく必要がある。</p>				

事務事業名	教育交流事業	所属	学校教育部教育総務課	H20事業費 (単位：千円)	3,091
目的	<p>東広島市と友好都市である中国四川省徳陽市と教育文化の交流を行い、互いの友好・親善を深め、児童生徒の国際的視野を広める。</p> <p>姉妹都市である北海道北広島市の小中学校と相互に児童生徒を派遣し、交流することにより、両市の教育の発展と児童生徒の視野の拡大や友好の精神を培う。</p>				
H20年度の取り組み実績及び成果	<p>北海道北広島市教育交流 北海道北広島市へ「子ども大使」として平成20年8月26日～28日の日程で児童18名(引率3名)を派遣、また平成20年8月7日～8日の日程で北広島市から児童10名(引率3名)を受入れた。受入れでは、東広島市の郷土料理の調理や試食、神楽鑑賞、交流校を訪れて全校集会や交流会に参加するなどの交流を行った。</p> <p>東広島市・北広島市スポーツ交流 平成20年8月6日～8日の日程で、生徒13名を北海道北広島市へ派遣し、バレーボールの交流試合を行った。</p> <p>中国四川省徳陽市教育交流 中国四川省徳陽市から児童・生徒10名(引率2名)を受入れ、交流を行う予定だったが、四川省大地震の影響で平成21年度へ延期となった。市内の交流校では、児童生徒が折り鶴やお見舞いのメッセージを作成し、徳陽市の交流校へ送付した。</p>				
評価及び課題	<p>北海道北広島市との交流では、派遣・受入れ後にも各学校同士でメッセージを交換しあうなどの交流が続いており、互いの友好・親善を深めるという点で、効果を挙げている。</p> <p>一方、東広島市・北広島市スポーツ交流について、全ての中学校でクラブ活動として行っている競技が少ないため、今後の交流の進め方について検討しているところである。</p>				

事務事業名	私立高等学校への助成	所属	学校教育部教育総務課	H20事業費 (単位：千円)	2,782
目的	市内私立高等学校生徒の保護者の経済的負担軽減し、また教育環境の向上を図るため、教材・教具、教育環境の整備に補助を行う。				
H20年度の取り組み実績及び成果	<p>近畿大学附属東広島高等学校 金額：生徒1人当たり単価2,000円×5月1日在籍数673人 = 1,346,000円 用途：教育研究経費（材料用品費として理科実験器具・乾電池・入学式用紙等購入）</p> <p>武田高等学校 金額：生徒1人当たり単価2,000円×5月1日在籍数523人 = 1,046,000円 用途：教育研究経費（備品費として地デジ対応テレビ・DVD・教室本棚購入）</p> <p>それぞれ、教育のため、有効に活用した。また、活用中である。</p>				
評価及び課題	補助金を、生徒の学習、クラブ活動などに必要な、備品・消耗品の購入に充当することにより、教育の充実に寄与しており、今後も継続していく。				

事務事業名	スクールバス運行	所属	学校教育部学事課	H20事業費 (単位：千円)	38,214
目的	<p>小・中学校から遠距離にある児童生徒に対し、スクールバスを運行し、通学の確保及び通学時の安全を図る</p>				
H20年度の取り組み実績及び成果	<p>小学校 豊栄小学校（4系統）、河内西小学校（2系統）、入野小学校、中黒瀬小学校において、スクールバスを運行した。</p> <p>中学校 河内中学校において、スクールバスを運行した。</p>				
評価及び課題	<p>事故なく、スクールバスが運行されており、遠距離通学児童生徒の通学上の安全が確保されている。</p> <p>一方、今後、小学校の統合が計画されており、スクールバスの運行のあり方の検討が必要である。</p>				

事務事業名	通学補助	所属	学校教育部学事課	H20事業費 (単位：千円)	16,375
目的	<p>小・中学校から遠距離にある児童生徒のうち、公共交通機関等を利用して登校する児童生徒に対し、通学費の一部を補助し、また自転車通学する生徒に対しヘルメット購入代の一部を補助することにより、保護者の負担軽減を図る。</p>				
H20年度の取り組み実績及び成果	<p>(1) 通学補助 小学校 久芳小学校(20人)、川上小学校(20人)、三ツ城小学校(5人)、中黒瀬小学校(34人)において実施した。 中学校 高屋中学校において実施した。(63人)</p> <p>(2) 市内中学校において、自転車通学をしている生徒に対し、ヘルメット購入の補助を行った。(1,140人)</p>				
評価及び課題	<p>遠距離通学者、自転車通学生徒において、通学にかかる費用の保護者の負担軽減につながっている点で効果がある。 今後、小学校の統合が計画されており、スクールバスの運行とあわせ市内統一的な補助のあり方に対する検討が必要である。</p>				

事務事業名	私立幼稚園協議会への助成	所属	学校教育部学事課	H20事業費 (単位：千円)	3,190
目的	私立幼稚園の円滑な運営と教育の充実を図るため、私立幼稚園協議会に対し、助成を行う。				
H20年度の取り組み実績及び成果	私立幼稚園協議会（11園）に対し助成を行った。				
評価及び課題	各私立幼稚園の施設維持や教材の充実等により、本市の幼児教育の質の確保・向上に一定の成果をあげている。 今後も、幼稚園の円滑な運営と教育の充実を図るため、継続的に実施する。				

事務事業名	学校教育推進事業	所属	学校教育部指導課	H20事業費 (単位：千円)	32,085																																																																											
目的	<p>新学校教育レベルアッププランの趣旨を踏まえ、市内の幼稚園、小中学校の学校力と教師力を向上させるとともに、園児や児童生徒の人間力の育成を図る。</p>																																																																															
H20年度の取り組み実績及び成果	<p>1 教職員の指導力向上</p> <p>(1) 校内研修の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 各校の教育研究テーマに沿って講師及び指導主事を派遣 <p>(2) 教育研究推進校の指定</p> <ul style="list-style-type: none"> 市教育推進指定校(6校)・・・小谷小、入野小、乃美尾小、久芳小、八本松小、豊栄中 国、県等教育推進指定校(7校)・・・原小、高屋東小、高屋西小、高美が丘小、中黒瀬小、高屋中、高美が丘中、黒瀬中 <p>(3) 教職員の指導力向上のための各種研修会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 全教職員研修会(ワークショップと講演会)648名参加 8月11日 演題「新学習指導要領とその授業像」講師 早大教授 安彦忠彦 管理職研修会(校長部会 7月26日・27日、教頭部会 8月22日・23日) 指導力向上夏期連続セミナー 8月上旬14講座 延べ543名参加 学校ニューリーダー研修会(主幹、教務主任、研究主任を対象)計3回実施 特別支援学級担当者会、日本語指導担当者研修会、司書教諭等研修会、情報教育担当者会等 <p>(4) 新学校教育レベルアッププラン推進委員会(3月17日開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成20年度の進捗状況を評価 <p>2 学力向上と特色ある学校づくりの推進</p> <p>(1) 学力調査の実施・・・児童生徒の学習状況を把握し指導に活かす。</p> <ul style="list-style-type: none"> 全国学力・学習状況調査(4月 小6・中3)、基礎・基本定着状況調査(6月 小5・中2) NRT学力調査(6月 小2～中3) <p>(2) 特色ある学校づくりのための教育内容の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> キャリア教育の推進(5日間の職場体験学習の実施等)、小中学校音楽発表会の開催、社会科副読本の作成(小3に配布)等 外部人材の活用(地域住民や学生がマイタウンティーチャーや学生マイタウンとして学校に出向き、授業やクラブ活動などの児童生徒の活動を支援する。) <p>マイタウンティーチャー：年間1,547回、学生マイタウンティーチャー：年間396回</p>																																																																															
評価及び課題	<p>平成20年度「全国学力・学習状況調査」によれば、市内小中学校ともに、全国・広島県の平均正答率よりも高く、「概ね良好な結果」と言える。さらに基礎・基本をしっかりと習得させ、教職員の指導力向上を図る中で思考力・判断力・表現力をさらに高めていく必要がある。</p> <p>平成20年度「基礎・基本定着状況調査」によれば、市内小中学校とも、広島県の通過率を上回り、各教科とも70%を超えており、「良好な結果」と言える。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="319 1534 710 1758"> <p>平成20年度全国学力・学習状況調査(小学校6年生)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>全国</th> <th>広島県</th> <th>東広島市</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語A</td> <td>66.6</td> <td>67.5</td> <td>72.2</td> </tr> <tr> <td>国語B</td> <td>50.5</td> <td>53.3</td> <td>58.7</td> </tr> <tr> <td>算数A</td> <td>72.2</td> <td>74.5</td> <td>78.7</td> </tr> <tr> <td>算数B</td> <td>51.6</td> <td>53.6</td> <td>58.7</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="718 1534 1109 1758"> <p>平成20年度全国学力・学習状況調査(中学校3年生)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>全国</th> <th>広島県</th> <th>東広島市</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語A</td> <td>73.6</td> <td>74.1</td> <td>75.8</td> </tr> <tr> <td>国語B</td> <td>60.9</td> <td>60.9</td> <td>64.7</td> </tr> <tr> <td>数学A</td> <td>63.1</td> <td>64.1</td> <td>66.6</td> </tr> <tr> <td>数学B</td> <td>49.2</td> <td>48.7</td> <td>51.9</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="1117 1534 1508 1758"> <p>平成20年度基礎・基本定着状況調査</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>科目</th> <th>全国</th> <th>広島県</th> <th>東広島市</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">小5</td> <td>国語</td> <td>67.6</td> <td>71.1</td> <td>76.1</td> </tr> <tr> <td>算数</td> <td>76.1</td> <td>78.6</td> <td>80.9</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中2</td> <td>国語</td> <td>65.7</td> <td>71.5</td> <td>74.1</td> </tr> <tr> <td>数学</td> <td>71.1</td> <td>74.1</td> <td>78.2</td> </tr> </tbody> </table> </div> </div> <p>本市の学校教育を推進する上での指針となっている新・学校教育レベルアッププランを、国や県の動向等も踏まえ、本市の特徴である不易の部分を大切にしながら子どもたちの「生きる力」をいかに育成していくかを視点に、改定していく。本市の児童生徒が将来の夢や目標を持っている割合は、国や県よりも高い数値を示しているが、さらに高めていくために特色ある学校づくりの充実に努める。</p> <div data-bbox="1117 1792 1508 2038"> <p>将来の夢や目標を持っていますか(肯定的評価)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>全国</th> <th>広島県</th> <th>東広島市</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>84.7</td> <td>86.2</td> <td>88.1</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>70.7</td> <td>72.1</td> <td>73.6</td> </tr> </tbody> </table> </div>					科目	全国	広島県	東広島市	国語A	66.6	67.5	72.2	国語B	50.5	53.3	58.7	算数A	72.2	74.5	78.7	算数B	51.6	53.6	58.7	科目	全国	広島県	東広島市	国語A	73.6	74.1	75.8	国語B	60.9	60.9	64.7	数学A	63.1	64.1	66.6	数学B	49.2	48.7	51.9	学年	科目	全国	広島県	東広島市	小5	国語	67.6	71.1	76.1	算数	76.1	78.6	80.9	中2	国語	65.7	71.5	74.1	数学	71.1	74.1	78.2	学年	全国	広島県	東広島市	小学校	84.7	86.2	88.1	中学校	70.7	72.1	73.6
科目	全国	広島県	東広島市																																																																													
国語A	66.6	67.5	72.2																																																																													
国語B	50.5	53.3	58.7																																																																													
算数A	72.2	74.5	78.7																																																																													
算数B	51.6	53.6	58.7																																																																													
科目	全国	広島県	東広島市																																																																													
国語A	73.6	74.1	75.8																																																																													
国語B	60.9	60.9	64.7																																																																													
数学A	63.1	64.1	66.6																																																																													
数学B	49.2	48.7	51.9																																																																													
学年	科目	全国	広島県	東広島市																																																																												
小5	国語	67.6	71.1	76.1																																																																												
	算数	76.1	78.6	80.9																																																																												
中2	国語	65.7	71.5	74.1																																																																												
	数学	71.1	74.1	78.2																																																																												
学年	全国	広島県	東広島市																																																																													
小学校	84.7	86.2	88.1																																																																													
中学校	70.7	72.1	73.6																																																																													

事務事業名	学校の元気応援事業	所属	学校教育部指導課	H20事業費 (単位：千円)	98,217
目的	<p>新学校教育レベルアッププランに、市内幼稚園、小学校、中学校の学校力と教師力の加速推進を図るため、学校の元気応援につながる事業を継続して実施することにより、県のリーディングエリアから日本のフロントランナーへと学校教育水準の向上を図る。</p>				
H20年度の取り組み実績及び成果	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校の魅力アップ事業 特色ある取り組みメニューを希望する学校が取り組み、その成果を市内に広める。 「魅力ある学校図書館づくり」、「食教育の推進」、「環境の整った美しい学校づくり」、「伝統文化の継承」の4つのメニューで33校が取り組み、特色ある学校づくりとさらにやる気のある学校づくりを推進することができた。 2 全国へ東広島文化発信 小学生が音楽等文化活動で全国大会出場する場合の旅費等を支援(中国大会50%、全国大会75%補助)する。 中黒瀬小学校マーチングバンド(中国大会、全国大会出場)、寺西小学校合唱部(中国大会出場)への支援を行った。 3 マスター講師ワイド活用 優れた専門性を持つ退職教員を非常勤講師に任用し、学校に派遣するなかで教育活動向上につなげる。 5名のマスター講師を任用し、校長への学校経営のアドバイスや担当教員との連携のなかでTTによる授業や部活動指導を行う中で、学校長の課題に対する的確な指導や教員の指導力向上を図ることができた。 4 学校教育支援員配置事業 小中学校における多様な課題に対応し、教員を補助できる非常勤講師を配置する。 3つの課題に対応 37名分の予算化の中で44名配置 特別支援教育対応29名、新学習指導要領対応2名、生徒指導対応13名を配置 学校教育支援員の配置によって、教員の児童生徒と関わる時間が確保され、これまでに上にきめ細かな対応ができるようになった。 5 新教育課程プログラム 新学習指導要領に示された「活用力」向上のためのプログラムを事業化する。 「活用力」育成に関わり、プロジェクト会議の開催、先進地視察、開発指定校や課題校への重点支援を行い、その成果を市内の各学校に広めることができた。 				
評価及び課題	<p>様々な教育課題がある中で、特色ある学校づくり、教科指導、生徒指導、特別支援などの面で、取り組みの活性化や教職員の意欲の向上につながったとの報告があるなど、新規事業として一定の成果をあげることができた。</p> <p>「学校の魅力アップ事業」での取り組みが全国規模の大会等で表彰を受ける。 ・平成21年度読書活動優秀実践校文部大臣表彰・・・木谷小学校 ・平成20年度全日本学校関係緑化コンクール(準特選)・・・豊栄中学校(入選)・・・松賀中学校</p> <p>「学校教育支援員配置事業」の学校からの評価について ・配置した学校からは、「学校の教職員が児童生徒とかかわる時間が確保され、これまでに以上に児童生徒へのきめ細やかな対応が可能となった」と肯定的な評価が聞かれ、来年度以降も継続して配置してほしいなどの強い要望が出された。</p> <p>平成20年度からの新規事業であるが、本市の学校教育を全国レベルに引き上げるために欠かせない事業となっている。特に、平成21年度は学校教育支援員の減額等により学校からの希望に添えない状況が出てきているため、この効率的な活用が課題となっている。</p>				

事務事業名	英語教育推進	所属	学校教育部指導課	H20事業費 (単位：千円)	44,050
目的	JETプログラムのALT（外国語指導助手）及び英語が堪能な地域人材等を小中学校に派遣することにより、小学校の外国語活動の推進や中学校の実践的な英語指導を実施する。				
H20年度の取り組み実績及び成果	<p>1 JETプログラムのALT（6名）</p> <p>（1）ALTの派遣 全中学校、合併町、志和町及び高屋町（高屋西・高美が丘）の小学校にALTを派遣をした。（ALTとの授業：中学校生徒は月2回、小学校児童は月1回程度）</p> <p>（2）ALTの活用 ・夏季休業中の教職員研修会の講師等として活用をした。（7回） ・夏季休業中に「教師のための英会話レッスン」の講師として小学校24校に派遣をした。 ・中学校英語暗唱大会に審査員として活用をした。</p> <p>（3）ALTの指導力向上 ・指導主事がALTの授業観察を年間2～3回行い、チームティーチングのあり方について指導をした。また、各学校からALTの勤務状況等を聞き、ALTに個別指導することにより指導力向上を図った。 ・県主催のALT研修会（年2回）、第43回広島県中学校英語教育研究大会及び日本語研修（新ALTのみ）に参加をさせ、指導力向上に努めた。</p> <p>2 英語が堪能な地域人材（22名） 西条町、高屋町及び八本松町内の小学校に英語が堪能な地域人材等を派遣をした。</p> <p>3 その他 ・低中学年から高学年で使用する英語ノートへの接続及び小中連携に配慮した「小学校外国語活動年間指導計画（第1学年～第6学年）」を作成した。（高学年35時間、中学年20時間低学年10時間＊低・中学年については、学校裁量の時間に実施。） ・平成20年度末に外国語活動の冊子を2冊を作成し、小学校全教職員と中学校担当者に配布し、市内小学校英語教育の推進に努めた。</p>				
評価及び課題	<p>市教委が「小学校外国語活動指導案集」や指導冊子を作成し配布することにより、教員への外国語活動の趣旨の徹底と中学校への円滑な接続を図ることができた。</p> <p>実践的な英語指導を行うことにより、生徒の英語に対する興味・関心が高まった。 （「英語が好きな生徒」東広島市62.7%・県平均57.6% 【平成20年度「基礎・基本」定着状況調査】より）</p> <p>チーム・ティーチングの充実を図る。 小学校教員とALTが効果的なチーム・ティーチングを行うための研修が必要である。</p> <p>高学年の外国語活動の充実 定期的にALTや地域人材等の授業が受けられるように配置をする。</p>				

事務事業名	特別支援教育の充実	所属	学校教育部指導課	H20事業費 (単位：千円)	186,625
目的	<p>幼稚園や小中学校の普通学級及び特別支援学級に在籍する発達障害のある幼児児童生徒の活動を支援する。</p> <p>各学校等で実施される買い物学習等，特別支援学級の教育内容の充実を図る。適正な就学指導を実施し，特別支援学級担当者及び特別支援コーディネーターの資質を向上させる。</p> <p>難聴の保護者に対して，手話通訳者や要約筆記者を派遣し，学校行事等における情報提供を行う。</p>				
H20年度の取り組み実績及び成果	<ol style="list-style-type: none"> 1 特別支援学級等へ教育補助員の派遣（幼稚園6名、小学校51名、中学校23名） 2 特別支援サポーター及び大学生による特別支援教育サポーターの派遣 <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育サポーター 4名（幼稚園3名、中学校1名） ・学生特別支援サポーター43名（幼稚園1名、小学校36名、中学校6名） 3 就学指導委員会の開催と対象幼児児童生徒についての教育相談の実施 4 専門家巡回相談員による巡回相談の実施（40回実施） 5 特別支援担当者及び特別支援教育コーディネーター研修会の開催（年3回） 6 特別支援学級における買い物学習等，社会参加に向けた取り組みへの支援 7 対象となる保護者のいる学校の行事に際し，手話通訳・要約筆記者の派遣（210名） 				
評価及び課題	<p>発達障害のある幼児児童生徒へ教育的支援等を行うため、必要な学級へ人的措置を一定期間行うことにより、自立に向けて一定の成果を上げることができた。</p> <p>コーディネーター研修や巡回相談を実施することにより、教員の幼児児童生徒理解が深まり関わり方についての専門性が高まった。また幼児児童生徒も学習面での伸びや生活面での落ち着きなど変容が見られた。</p> <p>買い物学習では、実際に買い物を体験することや多くの人と交流することで、実生活に即した学習を展開することができ効果的であった。</p> <p>巡回相談の取り組みを充実させるとともに、就学指導について保育所・幼稚園との連携をさらに深めていく必要がある。</p> <p>特別支援学級の指導者の専門性をさらに高める研修等を実施することにより、指導力の向上を図る。</p>				

事務事業名	心の教育推進	所属	学校教育部指導課	H20事業費 (単位：千円)	567															
目的	<p>家庭の教育力の低下や地域コミュニティの希薄化等、学校教育を取り巻く環境は困難さを増している。そこで、子供たちの規範意識を醸成し、郷土に誇りをもち東広島市の将来を担う力を育むために、学校内外において「心の教育」を充実させる。また、教職員に対しては、困難さを増す教育条件の下で、地域・保護者からの信頼を得る教育を実践していくために、しなやかな感性と強い耐性を身につける「心の教育」を推進する。</p>																			
H20年度の取り組み実績及び成果	<p>1 地域・保護者を対象とした「心の教育」講演会の実施 市民ぐるみで心の教育を推進していくことの重要性を考え、議論していくために、全市的な講演会や学校区でのミニ講演会を開催した。 全市的な講演会 10月25日(土) 講師： 茶道 上田宗箇流家元 上田 宗岡 氏 演題「日々ごゆだんなきよう」 入野小学校区で講演会 2月13日(金) 講師： 義足のランナー 島袋 勉 氏 演題 「夢をあきらめないで」</p> <p>2 教員を対象とした「心の教育」連続講座の実施 教員としての心、人として生きていく上で根本的に必要なものを学ぶ場として連続講座を展開した。 今年度は、5回の連続講座を「教師力養成・心を鍛える連続講座」として、退職教員が中心となって結成された東広島こころ塾に企画・運営など委託して実施した。 (講座のテーマ：「人間としての生き方を考える」 参加者：のべ144名)</p> <table border="0" data-bbox="384 1055 1230 1211"> <tr> <td>第1回</td> <td>7月19日(土)</td> <td>講演「人間としての生き方を考える」</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>8月2日(土)</td> <td>能楽についての講話</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>8月23日(土)</td> <td>講演「発達障害児とその支援」</td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>9月20日(土)</td> <td>講演「古典で読む日本の心」</td> </tr> <tr> <td>第5回</td> <td>10月25日(土)</td> <td>講演「日々ごゆだんなきよう」</td> </tr> </table>					第1回	7月19日(土)	講演「人間としての生き方を考える」	第2回	8月2日(土)	能楽についての講話	第3回	8月23日(土)	講演「発達障害児とその支援」	第4回	9月20日(土)	講演「古典で読む日本の心」	第5回	10月25日(土)	講演「日々ごゆだんなきよう」
第1回	7月19日(土)	講演「人間としての生き方を考える」																		
第2回	8月2日(土)	能楽についての講話																		
第3回	8月23日(土)	講演「発達障害児とその支援」																		
第4回	9月20日(土)	講演「古典で読む日本の心」																		
第5回	10月25日(土)	講演「日々ごゆだんなきよう」																		
評価及び課題	<p>「心の教育」講演会では、地域・保護者を対象とし、人の営みや伝統文化、自然や国を愛する心等に係る内容で実施した。参加した地域・保護者の方々の心に直接働きかけるものであった。</p> <p>「心の教育」連続講座に参加した教員からは、「教師である前に人間としての生き方を学ぶことができ、今後の教育活動推進への大きなヒントを得ることができた。」など良い評価が多く寄せられた。</p> <p>教員を対象とした「心の教育」連続講座は、学校行事や部活動等で都合がつかず参加できない者がいた。より多くの教員が参加しやすい日程を検討していく必要がある。</p>																			

事務事業名	学校体育の充実	所属	学校教育部指導課	H20事業費 (単位：千円)	20,945																								
目的	<p>体育・保健体育科教育、部活動及び指導者講習会等を充実させ、市内小中学生の体力・運動能力向上及び食育の推進を図る。特に推進校においては、モデル的な取組みを実施させ、先進的な事例を市内全域に広める。また、各種研修会及び研究大会を開催し、指導技術の向上を図るとともに、児童生徒の技能及び運動意欲を高める。また、新体力テストを実施し、児童生徒一人一人の体力・運動能力の実態を明らかにして、向上のための手立てを講ずる。小体連・中体連事業へ補助を行うことにより、保護者の負担を軽減を図るとともに、運動能力を試したり高めたりする機会を増やす。</p>																												
H20年度の取り組み実績及び成果	<ol style="list-style-type: none"> 1 体力運動能力向上・食育推進校の指定 <ol style="list-style-type: none"> (1) 体力運動能力向上推進校(2校) <ul style="list-style-type: none"> ・小谷小学校：10月29日 研究公開を実施、2学級が授業提案 ・三ツ城小学校：2月20日 地域を対象に研究公開、全学級が体力・運動能力向上の具体的な内容を公開 (2) 食育推進校 <ul style="list-style-type: none"> ・高屋西小学校：8月28日 食育講演会を実施、12月17日 研究公開を実施(7学級が食に関する指導の授業提案) ・上黒瀬小学校：12月19日 保護者を対象に講演会を実施(講演の前に、全学級が食に関する指導の授業提案) 2 新体力テスト実施及び集計 5月～6月、市内全小中学校で実施し、記録を分析。全市の分析結果を市HPで公表。 3 水泳・陸上記録会の開催 8月5日 水泳記録会(参加533名)、10月18日 陸上記録会(参加660名)を開催。 4 水泳指導者実技講習会並びに陸上教室の開催 6月4日 水泳指導者講習会(参加30名)、9月27日 陸上教室(参加200名)を開催。 5 食育フェアの開催 11月1日・2日 生涯学習フェスティバルの中で、市民に食育の啓発を図る。食育フェアを開催(参加者：約300名) 6 プール薬品配布及び安芸津B&Gプールバス輸送(大田小・小松原小対象) 各学校にプール薬品を配布し、水質管理の徹底に努めた。また、安芸津B&Gプールへの大田小・小松原小の児童輸送を安全に行う。(合計17回) 7 中学校体育連盟及び小学生体育連盟への補助金・負担金の交付 8 中学校教員武道実技指導研修会の開催 平成20年8月25日 東京女子体育大学教授本村清人氏を講師に招聘し、市内中学校保健体育科教員を対象に講義及び実技指導を実施。(23名参加) 																												
評価及び課題	<p>本市の児童生徒は、全国・広島県の体力合計点よりも高く、体力面で「良好な状況」にある。特に、中学校は、男女共に全国1位の千葉県よりも高い。しかしながら、「投力」が全国平均並みであるため、その向上が今後の課題である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="347 1451 916 1738"> <p>平成20年度 全国体力・運動能力テスト「体力合計点平均値」の比較</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>性別</th> <th>全国</th> <th>広島県</th> <th>東広島市</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男子</td> <td>54.2</td> <td>54.6</td> <td>56.6</td> </tr> <tr> <td>女子</td> <td>54.8</td> <td>55.1</td> <td>57.0</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="927 1451 1495 1738"> <p>平成20年度 全国体力・運動能力テスト「体力合計点平均値」の比較</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>性別</th> <th>全国</th> <th>広島県</th> <th>東広島市</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男子</td> <td>41.5</td> <td>41.1</td> <td>46.5</td> </tr> <tr> <td>女子</td> <td>48.4</td> <td>47.8</td> <td>54.5</td> </tr> </tbody> </table> </div> </div> <p>新体力テストの分析結果から本市平均値は、小学校において全96種目中80種目(83.3%)が全国平均値と同じか上回っており、昨年度よりも17.7ポイント向上した。また、中学校は、全54種目中49種目(90.7%)が全国平均値を上回った。</p> <p>全国学力調査及び基礎・基本定着状況調査の結果から、全国や県と比較して、朝食を食べる児童生徒の割合が上回った。</p> <p>運動部活動では、西条中学校の男子と八本松中学校の女子が全国中学校駅伝に出場するなど全国レベルで活躍した。</p> <p>指定校には、新学習指導要領の完全実施を踏まえ、先進的な取組みの充実を図るよう今後も引き続き指導を行う。また、中学校新学習指導要領の武道必修化に伴う備品等の整備が急がれる。</p>					性別	全国	広島県	東広島市	男子	54.2	54.6	56.6	女子	54.8	55.1	57.0	性別	全国	広島県	東広島市	男子	41.5	41.1	46.5	女子	48.4	47.8	54.5
性別	全国	広島県	東広島市																										
男子	54.2	54.6	56.6																										
女子	54.8	55.1	57.0																										
性別	全国	広島県	東広島市																										
男子	41.5	41.1	46.5																										
女子	48.4	47.8	54.5																										

事務事業名	和文化教育全国大会補助	所属	学校教育部指導課	H20事業費 (単位：千円)	6,000
目的	<p>改正教育基本法において、伝統と文化に関する教育の推進が掲げられた。伝統・文化を含めた和文化教育の取組みが全国各地で行われる中で、本市で第4回和文化教育全国大会を開催することにより、本市も含めて全国各地の先進事例を通して、これから求められる伝統と文化に関する教育のあり方や和文化教育の全体像を明らかにしていく。</p>				
H20年度の取り組み実績及び成果	<p>1 主題 「わかちあおう、文化と伝統。かたりあおう、東広島で」 ～見つけよう 伝統と文化のすばらしさを 受け継ごう 伝統と文化の大切さを 創ろう わたしたちの新しい文化を～</p> <p>2 主催 和文化教育研究交流協会・和文化教育第4回全国大会東広島大会実行委員会</p> <p>3 日時 10月24日(金) 10:10～16:30 10月25日(土) 9:00～15:30</p> <p>4 場所 アクアパーク(東広島運動公園)体育館</p> <p>5 内容 【10/24】 オープニングアトラクション 筑前琵琶 上原まり 開会行事 アトラクション 西条小学校 オペラ「白壁の街」 公開授業 市伝統文化教育推進校発表(向陽中学校、志和中学校、原小学校、河内小学校) 特別講演 兵庫教育大学学長 梶田叡一 【10/25】 事例発表及びポスターセッション パネルディスカッション アトラクション 西条中学校 組曲「西條」 記念講演 茶道 上田宗箇流 家元 上田宗岡 閉会行事</p> <p>6 参加者 5,240人(内訳 1日目2,635人、2日目2,605人)</p> <p>原小学校、高屋東小学校、河内小学校、向陽中学校、志和中学校を市の伝統文化教育推進校として、その実践の取組みを研究大会の実践内容を全国に発信した。また、平成20年度から市内全幼稚園、小中学校において「一校一和文化学習」に取組み、パネルでの展示で発表した。</p> <p>研究大会には、全国各地から延べ5,200余名の参加があった。また、マスコミ等にも大きく取り上げられ、県内はもとより全国に和文化学習の重要性を広めることができた。</p>				
評価及び課題	<p>本市の伝統文化推進校の公開授業やポスターセッションでの発表、アトラクションでの西条小学校のオペラ「白壁の街」・西条中学校の組曲「西條」の発表や「一校一和文化学習」の展示に対し、県内外の参加者から高い評価を受けるとともに、本市のこれまでの和文化教育の取組みを広く全国に発信する機会となった。</p> <p>この大会を契機として、市内全ての幼稚園、小中学校で子どもたちが日本の文化、東広島市や地域の歴史や文化を改めて見直し、日本や地域の伝統文化を大切にする教育の取組みが推進されるようになった。</p> <p>開催にあたっては、市内の教育関係団体(東広島市PTA連合会、東広島こころ塾、青少年育成東広島市民会議)の協力も得ることができたなど、学校・地域が一体となった取組みを進めることができた。</p> <p>新学習指導要領の移行期間中に年間指導計画等を作成し、各教科等で伝統や文化に関する教育の充実を図っていきたい。さらに、地域の理解や支援を受けながら、「東広島市の地域・文化を知り誇りを持ち、語れる子どもの育成」を目標に、今後も継続した和文化教育に取組みたい。</p>				